



初回から6回連続の出場で初の総合優勝を果たした岐阜高校のメンバー

第6回 科学の甲子園全国大会

感動をありがとう

岐阜県立岐阜高校が悲願の総合優勝

岐阜高校は初回から連続出場
で2回目以降は毎年10位以内の
好成績を収めています。2年生
8人のチーム全員が研究者を志
望し、優勝を目指して入念に準
備を重ねてきたそうです。事前
に公開される実技競技③で1
位、他の競技でも高得点をマ
ークして総合優勝を果たした。
キャプテンの高島優さんは
「先輩たちの思いや、先生方や
後輩たちの期待をこの8人で背



優勝の喜び

「努力を信じて取り組んだ結果が優勝 感無量です」

負ってきました。仲間を信じ、
努力を信じて取り組んだ結果が
優勝につながりうれしいです」
と満面の笑み。他のメンバーも
「高島君とは中学時代からライ
バル。一緒に戦えたことを誇り
に思います」(坂本啓太郎さん)
▽「直前の練習には参加できな
かったが、とてもうれしい」(豊
田将宏さん)▽「仲間を信じる
ことができたので優勝できまし
た」(西村直樹さん)▽「このス
テージに立ちたいと思っていた
が、夢がかなってうれしい」(瀬
古紘之さん)▽「支えてくれた
チームメイトと材料をそろえて
くれた関係者に感謝します」(桐
原聖子さん)▽「うれし涙を流
したのは初めて。達成感や感謝
も含まれています」(坂駿之介
さん)▽「1年生から大会を意
識して勉強会を開いてきた。大
会前夜も練習しました」(高井
万葉さん)と喜びを語っていま
した。

第6回科学の甲子園全国大会(科学技術振興機構、茨城県など主催)が、
3月17〜20日の4日間、茨城県つくば市のつくば国際会議場とつくばカピ
オで開かれ、第1回から連続出場の岐阜県立岐阜高校が悲願の総合優勝を
果たしました。全国47都道府県代表の高校生たちが科学の知識と技能を競
い合った大会の総合2位は東大寺学園高校(奈良県)、同3位は昨年優勝
の海陽中等教育学校(愛知県)でした。岐阜高校は米國・ウイスコンシン
州で開催される「サイエンス・オリンピックアド2017」に参加します。

PLAYBACK あれから3年...



第3回大会は準優勝も、第4回大会は10位に沈み、悔しさをあらわにする岐阜高校メンバー



2位・東大寺学園高校

3位・海陽中等教育学校

「第6回 科学の甲子園全国大会」成績一覧

競技・成績	学校名
総合優勝(文部科学大臣賞・CIEE/TOEFL賞)	岐阜・県立岐阜高校
総合2位(科学技術振興機構理事長賞・UL Japan賞)	奈良・東大寺学園高校
総合3位(茨城県知事賞・常陽銀行賞)	愛知・海陽中等教育学校
総合4位(つくば市長賞・筑波銀行賞)	兵庫・灘高校
総合5位(日本理科学教育振興協会賞)	神奈川・栄光学園高校
総合6位	茨城・江戸川学園取手高校
総合7位	徳島・徳島市立高校
総合8位	東京・筑波大学附属駒場高校
総合9位	千葉・渋谷教育学園幕張高校
総合10位	大阪・大阪星光学院高校
筆記競技1位(講談社賞)	愛知・海陽中等教育学校
筆記競技2位(内田洋行賞)	神奈川・栄光学園高校
実技競技① 1位(トヨタ賞)	愛知・海陽中等教育学校
実技競技① 2位(ケニス賞)	新潟・県立新潟高校
実技競技② 1位(パナソニック賞)	奈良・東大寺学園高校
実技競技② 2位(ヤガミ賞)	千葉・渋谷教育学園幕張高校
実技競技③ 1位(SHIMADZU賞)	岐阜・県立岐阜高校
実技競技③ 2位(ナリカ賞)	徳島・徳島市立高校
企業特別賞(旭化成賞) 最も優れたチームワークを発揮した優秀校	秋田・県立秋田高校
企業特別賞(アジレント・テクノロジー賞) 実技競技①で最も優れた実験スキルを発揮した優秀校	茨城・江戸川学園取手高校
企業特別賞(学研賞) 実技競技③で優れたメカ・デザインを開発した優秀校	三重・県立伊勢高校
企業特別賞(埼玉県経営者協会賞) 1年生を含むチームの中の優秀校	福岡・久留米大学附設高校
企業特別賞(帝人賞) 女子生徒3名以上を含むチームの中の最優秀校	宮崎・県立宮崎西高校
企業特別賞(日立財団賞) 最もイノベーションを予感させるユニークな解答をした優秀校	三重・県立伊勢高校

大学 ジャーナル

FREE

vol.124 4・5月号
第22巻1号・通巻124号

発行所:くらむぼん出版 〒531-0071 大阪市北区中津1-14-2
TEL06(6372)5372 FAX06(6372)5374
E-mail KYA01311@nifty.com

大学ジャーナル
UNIVERSITY JOURNAL
ONLINE

http://univ-journal.jp



Highlight

05 ICUにこの春、縦寮、楓寮の2棟の
新学生寮が完成。



「大学ジャーナル」進路指導の
資料としての効果的活用

06 進路のヒント
先生になろう!

先生方、生徒さんに教職の
素晴らしさを伝えてください。

前十文字学園女子大学学長 横須賀 薫先生

教職課程コアカリキュラムに先駆けて
外国語(英語)コア・カリキュラム
を公表

東京学芸大学教育学部教授 粕谷 恭子先生

07 子どもたちが生きる時代に
責任をもちたい

小金井市立前原小学校校長 松田 孝先生

08 どうする担任への不満?
哲子の相談室その10

大学が地域の核になる
京都文教大学の挑戦



09 16歳からの大学論
「役に立つ研究or
役に立たない研究」について
どうして数学を学ぶの?
パラボラアンテナの
仕組みを体験する

12 読解力・表現力、コミュニケーション力
について考える シリーズその1
日本語力を高めよう

新潟産業大学学長、元筑波大学学長
北原 保雄先生に聞く

限りを尽くし協働した3日間



科学の甲子園全国大会



682校、8244人がエントリー 学校数は過去最多

科学の甲子園は「広げよう科学の輪 活かそう科学の英知」がキャッチフレーズ。全国各地から選ばれた高校生が一堂に会し、科学の知識と応用力を競うことで科学好きの裾野を広げ、トップ層の力をさらに伸ばす目的で2012年に創設されました。各道府県の代表選考会に参加したのは682校1179

チーム8244人で、校数は過去最多のエントリーとなりました。全国大会には、選考会を勝ち抜いた高専2校を含む初出場14校など47校361人の高校生が参加しました。

開会式では、選手を代表して栃木県立宇都宮高校キャプテンの小林海翔(かいと)さんが「私たちは、先人たちの科学の英知を活か

し、チームメイトとともにすべての競技で全力を出し切り、この地に集った全国の仲間と切磋琢磨し、交流を深め、科学の輪を未来へ広げていくことを誓います」と宣誓しました。

大会2日目から、各校6~8人で科学に関する知識とその応用力を駆使して筆記競技と3つの実技競技に挑戦しました。

筆記競技

理科や教科の枠を超えた12問

筆記競技は競技者6人・競技時間2時間で、理科・数学・情報の12問(52問)に挑みました。例えば、理科の問題では、自動販売機で投入された硬貨を選別する方法として磁石を利用していることを紹介。アルミニウムは磁石にくっつくことはな

いが、影響を受けて動くことがあると説明し、アルミニウム円板内の渦電流の様子について考え、磁石が動く方向に円板が引き寄せられる仕組みを説明するよう求めました。

教科・科目の枠を超えた融合的な問題も多く出題され、得意分野

を持ったメンバー構成と、それぞれの役割をうまく組み合わせたチームワークが競技のカギを握りました。

この競技では総合3位の海陽中等教育学校(愛知県)が最高得点をあげ第1位の講談社賞に輝きました。

実技競技

袋田の滝の凍結 未知の物質X、Yを探せ

「袋田の滝の凍結」(競技者3人・競技時間2時間)は化学分野の課題。ピフェニルを湯煎で溶かし、放冷して冷却時間と温度の関係をグラフ化し、凝固点を決定するのが最初

の課題です。約70℃で凝固し、固体になることが判明しますが、このピフェニルの性質を使い、未知の物質XとYの正体を突き止めます。Xを一定量溶かした溶液をつくり、凝固

点が何度下がったかを測定。これらからXの分子量を求め、同定していきます。この競技も海陽中等教育学校が優勝を果たしました。

都道府県名	学校名(カッコ内は出場回数)
北海道	北海道室蘭栄高校(初)
青森県	県立青森高校(3)
岩手県	県立盛岡第一高校(5)
宮城県	仙台高等専門学校(初)
秋田県	県立秋田高校(5)
山形県	県立米沢興譲館高校(3)
福島県	県立会津学鳳高校(2)
茨城県	江戸川学園取手高校(初)
栃木県	県立宇都宮高校(6)
群馬県	県立高崎高校(初)
埼玉県	県立浦和高校(2)
千葉県	渋谷教育学園幕張高校(4)
東京都	筑波大学附属駒場高校(4)
神奈川県	栄光学園高校(6)
新潟県	県立新潟高校(5)
富山県	県立富山中部高校(4)
石川県	県立金沢泉丘高校(5)
福井県	県立若狭高校(初)
山梨県	県立甲府南高校(2)
長野県	松本秀峰中等教育学校(初)
岐阜県	県立岐阜高校(6)
静岡県	県立掛川西高校(初)
愛知県	海陽中等教育学校(2)
三重県	県立伊勢高校(4)
滋賀県	県立膳所高校(6)
京都府	府立洛北高校(初)
大阪府	大阪星光学院高校(2)
兵庫県	灘高校(3)
奈良県	東大寺学園高校(初)
和歌山県	智辯学園和歌山高校(4)
鳥取県	県立鳥取西高校(6)
島根県	県立出雲高校(初)
岡山県	県立岡山朝日高校(3)
広島県	広島大学附属高校(初)
山口県	県立徳山高校(3)
徳島県	徳島市立高校(5)
香川県	県立丸亀高校(2)
愛媛県	県立今治西高校(2)
高知県	高知工業高等専門学校(初)
福岡県	久留米大学附設高校(5)
佐賀県	弘学館高校(2)
長崎県	県立長崎西高校(5)
熊本県	県立人吉高校(初)
大分県	県立大分豊府高校(初)
宮崎県	県立宮崎西高校(6)
鹿児島県	ラ・サール高校(6)
沖縄県	県立那覇国際高校(2)

- 協賛企業・団体**
(50音順)
- 旭化成株式会社
 - アジレント・テクノロジー株式会社
 - 株式会社内田洋行
 - 株式会社学研ホールディングス
 - ケニス株式会社
 - 株式会社講談社 (Rikejo)
 - 一般社団法人埼玉県経営者協会

- CIEE (ETS TOEFL)
- 株式会社島津製作所/株式会社島津理化
- 株式会社常陽銀行
- 株式会社筑波銀行
- 帝人株式会社
- トヨタ自動車株式会社

- 株式会社ナリカ
- 公益社団法人日本理科教育振興協会
- パナソニック株式会社
- 公益財団法人日立財団
- 株式会社ヤガミ
- 株式会社 UL Japan

- 応援企業・団体**
(50音順)
- AGS株式会社
 - 株式会社埼玉りそな銀行
 - 三州製菓株式会社
 - サントリーホールディングス株式会社
 - 株式会社タムロン
 - 凸版印刷株式会社

- 公益財団法人日本発明振興協会
- 株式会社ハーベス
- ブリタニカ・ジャパン株式会社
- 株式会社武蔵野銀行
- 学校法人ものづくり大学

科学の甲子園全国大会

知識と思考を総動員 知力の



事前に公開された実技③は「ばんえい競走 in つくば」(競技者4人・製作時間1時間・競技時間1時間30分)でした。用意された材料と工具類で、馬に見立てた4足歩行するロボットと4輪の電源車を時間内に製作し、それを使ってレースを行うという内容。電源は熱電素子の一種であるペルチェ素子を利用。発熱剤で素子の片面を温め、保冷剤で片面を冷やし、その温度差による電圧でモーターを回転させ、ロボットを



動かすという原理です。競技は1月末に事前公開し、材料も配布されました。岐阜高校では、理系は「科学の甲子園」を学校ぐるみで支援。生物担当の矢追雄一教諭(40)は「モーターや回路などの部品を多いものでは約100セット用意し、本番に備えた」という徹底した「努力の成果が出せました」と満足げでした。

実技競技 ③

ばんえい競走 in つくば / ロボット製作しレースを

実技競技 ②

進撃のダイナ走 / テイラノサウルス、アファール猿人の歩行速度は?



「進撃のダイナ走」(同3人・同2時間)は地学からの出題で、中世代の恐竜や新世代のアファール猿人の足跡の化石から歩行速度を推定するという課題です。自分たちの歩幅と足のサイズ・長さなどから歩く速さを測り、近似式を求めて、恐竜や猿人に応用しました。また、発展課題として重力の小さな火星での人類の歩行速度の考察も求められました。優勝した東大寺学園高校は「計測と理論、計算に担当を分け、効率よく正確なデータを得られたことが勝因」と分析していました。

数理科学する明治大学

■平成28年度文科省私立大学研究ブランディング事業

明治大学先端数理科学インスティテュート「数理科学する明治大学」が採択

■平成28年度 科学研究費助成事業「数学基礎・応用数学」分野で全国1位

明治大学は13分野にランクインし、「数学基礎・応用数学」では全国の大学・研究機関のなかで1位となりました。

2008年に先端数理科学インスティテュート(MIMS)を設置し、研究体制を強化。その後、大学院先端数理科学研究科と総合数理学部を新設するなど、数理科学分野における教育・研究を積極的に推進しています。

- 法学部 ●商学部 ●政治経済学部 ●文学部 ●理工学部 ●農学部 ●経営学部 ●情報コミュニケーション学部 ●国際日本学部 ●総合数理学部 ●大学院 ●法科大学院 ●専門職大学院 [ガバナンス研究科/グローバル・ビジネス研究科/会計専門職研究科] ●明治大学付属明治高等学校・明治中学校

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 TEL.03-3296-4545(代)

www.meiji.ac.jp



科学の甲子園全国大会

超電導で世界をリードする細野秀雄・東京工業大学教授らがシンポジウム

各実技競技の1位は 次を通り。 実技競技①(トヨタ賞) ②愛知・海陽中等教育学校▽同②(パナソニック賞) ③奈良・東大寺学園高校▽同③(SHIMA DZU賞) ④岐阜・県立岐阜高校▽実技特別競技(学研賞) ⑤三重・県立伊勢高校

各企業特別賞には、旭化成賞▽秋田・県立秋田高校、アジレント・テクノロジ賞▽茨城・江戸川学園取手高校、埼玉県経営者協会賞▽福岡・久留米大学附設高校、帝人賞▽宮崎・県立宮崎西高校、日立財団賞▽三重・県立伊勢高校がそれぞれ選ばれました。



大会3日目に開かれ、補にノミネートされている東京工業大学の細野秀雄教授が講演。「自分はどういう人間で、どういふ感受性をもっているかを考えながら、

君だけのテーマの見つけ方



自分でなければできない仕事、テーマを見つける必要がある。簡単には見つからないし、見つけ方があるわけでもない。七転八倒しながら感性に合わせるまで、まっすぐに決まってしまう。短期的に考えても無駄で、それは「一生続く」としながらも「みなさんには若さがあり、時代の風を感じるセンサー、勘をもっている。勘を軽視せず、自分らしいテーマを見つけてください」と激励しました。

また、細野教授のほか、北海道大学特任准教授・繁富香織氏▽同志社大学准教授・飛龍志津子氏▽東京工業大学特任准教授・青野真士氏がパネリストになり、科学者としてのテーマ選びのポイントをそれぞれの視点から熱く語りました。パネリストからは「人との出会いからテーマが生まれる。積極的に友だちをつくってほしい」(繁富氏)▽「結果を損得で考えず、面白そうだと思うたらチャレンジすることが大

FAREWELL PARTY



切」(飛龍氏)▽「何かを好きになる強さが必要。それが研究への強いモチベーションになる」(青野氏)などとアドバイスしました。特別シンポジウムの後、理系人材育成の為に企業・団体の担当者や高校関係者、教育関係者らが意見交換する「協働パートナーと教育関係者との交流会」などが行われました。フェアウェルパーティーでは、参加した生徒たちが、地域の伝統芸やかくし芸を披露、他高生との交流も例年以上に進みました。なお第7回大会は埼玉県さいたま市に会場を移して開かれる予定です。



細野 秀雄氏



飛龍 志津子氏



青野 真士氏



繁富 香織氏

多様な技術に対応する10コースを設置(情報セキュリティ、脳科学、デジタルアプリケーションなど)。自分の興味に合わせてコースの組み合わせ方はさまざま。情報技術と理工学を融合し、在学中から新たな技術やアイデアを創造する。

NEW

情報理工学部

情報理工学科

2018年4月誕生

むすんで、うみだす。 京都産業大学

◆経済学部 ◆経営学部 ◆法学部 ◆現代社会学部 ◆外国語学部 ◆文化学部 ◆理学部 ◆情報理工学部 ◆総合生命科学部

※2018年4月学部新設(設置申請中:内容は予定であり、変更が生じる場合があります。)

入学センター 〒603-8555 京都市北区上賀茂本山 TEL.075-705-1437 http://www.kyoto-su.ac.jp

3月21日に行われた表彰式(法政大学 市ヶ谷キャンパス)で、学校法人柿の実学園、柿の実幼稚園が厚生労働大臣賞に選ばれた。受賞理由は以下の通り。

- 1) 約1600名の園児を38クラスの完全縦割りに保育しており、内約300名が障がい児であり、重度の障がい児を優先的に入園させている。
- 2) 障がい児の特別クラスを設けず、障がい児一人に対して専属の有資格の非常勤を1〜3名配置し、看護師や介護福祉士も常駐させている。
- 3) 職員の大半は、同園に通った園児の保護者である。
- 4) 10名弱の高齢者(65歳以上)の職員が元気に働いている。
- 5) ライフワークに合わせた柔軟な働き方ができ、職員の定着率が極めて高い。女性管理職比率も90.9%と非常に高い。
- 6) 小島園長は、37年にわたり毎朝8時〜10時登園する園児一人一人を門で迎え入れ挨拶を続けている。

(柿の実学園からのメッセージは次号に)

日本でいちばん大切にしたい会社大賞は、人を大切にす経営学会「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞実行委員会(委員長:事業構想大学院大学前学長清成忠男)が主催。後援は経済産業省、厚生労働省等17団体。過去5年以上にわたって下記5点に該当してきたことを最低条件とし、「人を大切にす」企業を選出してきた。

1. 人員整理を目的とした解雇や退職勧奨をしていないこと(東日本大震災等の自然災害の場合を除く)
2. 外注企業・協力企業等、仕入先企業へのコストダウンを強制していないこと
3. 障がい者雇用率は法定雇用率以上であること(常勤雇用50人以下の企業で障がい者を雇用していない場合は、障がい者就労施設等からの物品やサービス購入等、雇用に関する取り組みがあること)
4. 黒字経営(経常利益)であること(一過性の赤字を除く)
5. 重大な労働災害がないこと(東日本大震災等の自然災害の場合を除く)

経済産業大臣賞、厚生労働大臣賞、中小企業庁長官賞、実行委員長賞(各1社もしくは1団体)、審査委員会特別賞(10社)、実行委員会特別賞(4団体)がある。

人を大切にす経営学会(会長:法政大学大学院教授坂本光司)は、《業績や勝ち負け等ではなく、組織にかかわる全ての人々の幸せの追求、実現こそが企業経営の最大・最高の使命と責任と考える人たちによって、業績や勝ち負けではなく、人をトコト大切にしている企業こそが、好不況にぶれず好業績を維持・継続しているという近年の先行研究の深化・体系化と、人を大切にす経営学の普及・浸透》を目指す。

第7回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞で厚生労働大臣賞を柿の実学園、柿の実幼稚園が受賞



写真③



写真④

3月3日の記者発表では、セミナーラームの活用例として、防災をテーマに、東日本大震災直後から被災地支援にあたった同窓生の講演と、大学院生、学部学生によるワークショップ、「学生寮と地域の〈共助〉について考える」が開かれた。学生たちは3班に分かれ、大震災が起きたことを想定して、三鷹市の大規模災害避難場所に指定されているキャンパスでの対応について話し合った。セミナーラームでは今後、リーダーシップ研修、ダイバーシティを考えるプロジェクト、心身ともに健康に生活するためのセミナーなどを展開していく予定という。

ICUに新しい学生寮「縦寮」「楓寮」が完成、4月1日に開業しました。完成したのは、縦寮(南棟)と楓寮(北棟)。ICUとしては13番目と14番目の寮となる。

縦寮が7階建て、楓寮が5階建てで、各階の定員は32名、収容人数は合わせて320人。1階は両棟の共有フロアで、2階から上が居住空間。2階が男子フロアで、3から5階が女子フロア。居室は基本的に二人部屋。縦寮の6、7階は大学院生を意識した一人部屋設計が基本で、男女混住となる。

安心・安全や環境への配慮に加えて重視されているのが、寮生間で自然に对话が生まれ、交流の深まるような設計・レイアウト。

たとえば居住フロアには、居室の他に、各階共用のキッチン・ダイニングにシャワールームやランドリー、さらにスタディーラーム、また寮生活の中心となるソーシャルラーム(写真①)と呼ばれる多目的スペースが備えられ、留学生も含めてさまざまな価値観を持つ者同士が日常的に触れ合えるようになっている。「寮とは眠るための場所、ドミトリーでなく、他者との交流を通じ

全学生の約3分の1がキャンパスに居住できることに



写真②



写真①

て人間的な成長をもたらす場」(布柴達男学生部長)だからだ。

キャンパスとの共生、既存の寮との融合も大きなテーマで、居住する寮生以外にも開かれているのも大きな特徴。両棟の共有フロアである1階には、共同のリビング&ダイニングや大浴場に加え、大小6つのセミナーラーム(写真②)が備えられ、クアドラング(中庭)でつながる(写真③)既存の寮に住む学生だけでなく、通学生や教員も利用できる。特にセミナーラームは、学生主催のイベントや、大学が企画提案するワークショップなど、幅広い学びと交流の場として活用される予定だ(写真④)。

寮費は水光熱費、ネット回線使用料を含み月々約5万5000円弱。これだけに抑えたことについて大学は、学生からの寮費だけではなく、他の財源からも資金を充て運営に当たると説明する。

ICUにおける学生寮は1955年の開設以来、人間性の全体的な発達と人格の成熟というリベラルアーツ教育の目標を達成するのになくてはならない教育施設と位置付けられている。ダイバーシティを重

「ICUにこの春、縦寮、楓寮の2棟の新学生寮が完成。」

んじる観点から、海外からの留学生と日本人学生が共に住むのが原則で、開学以来、すでに5000人以上の学生が寮に居住した。受験生からのニーズも高い。

今回完成した縦、楓の2寮は、こうした伝統の現時点での集大成ともいえるもので、特に伝統とされる対話の文化が、学生主体の運営だけでなく、建設計画にも反映されているのが大きな特徴という。既存の寮に暮らす寮生と寮生活の経験のある同窓生が実際の計画立案過程に参画、計画立案のための教職員を交えた委員会は、これまでに約40回開催されたとのこと。例えば、「32人」という1フロアの定員は、学生による主体的運営に最適という学生の意見を反映したものであり、「2人1部屋」も学生と同窓生の「2人部屋こそ、ICUの寮」という声を反映させたものだという。

新たに2棟の寮が加わったICUでは、約900名の学生がキャンパス内に居住できることになる。これは全学生の3割弱となる。またICUでは教員の多くもキャンパス内に居住することから、キャンパスにはさらなる対話があふれることが期待される。

教科横断型の探求学習に資する「大学ジャーナル」

進路指導の資料としての効果的活用

次期学習指導要領のポイントと言えば、教える側の視点としては、PDCAサイクルを踏まえたカリキュラム・マネジメント、学ぶ側の視点としては、自主的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)や「理数探求(仮称)」「総合的な探求の時間(仮称)」といった教科横断的な探求学習等が挙げられる。

技術革新の加速やグローバル化の奔流が今までの常識を打ち破り、過去の経験則を書き換え、これまでの延長線上にない教育観を生み出そうとしている。いわゆる「難関」「有名」大学への出口指導に偏重している現状からの断絶(Disruption)であり、国際社会に通用する人間創りへの本格始動である。その意味で、「偏差値によらない大学選び」を標榜する「大学ジャーナル」の編集コンセプトと一致する。同紙の最大の利点は、アカデミズムの世界の扉を開いてくれている点。一部には難しいという向きもあるが、精選されたトピックが世相を映す鏡となっていることもまた事実であり、社会で役立つコンピテンシーを本気で身につけるための大学進学を考えている高校生や、これから社会の第一線で働こうと思っている大学生にとっては必読の情報誌となっている。

龍谷大学付属平安中学校高等学校
校長補佐 平井 正朗

*

電子データ化された「大学ジャーナルオンライン」は、ICT教育を推進する上で好個の言語材料である。直近のものを見ても「研究成果」では、体が24時間を正確に刻む仕組み、ガーデニングによるうつ症状低下、心筋梗塞の病態を改善するタンパク質発見、脳内のやる気スイッチの画像化技術、寝不足が食べ過ぎを招く原因の一端等が紹介され、「産学連携」では、認知症治療の産医連携、光ファイバーセンサーの超高速化、サイバーセキュリティ、人工知能と人間の感情共有、データサイエンス等、英語長文読解の素材にしたいようなタイムリーな話題が満載、探求学習の拠り所となっている。「キャリア」では、就活状況、就職内定率、初任給、仕事と子育てのインターンシップ、新入社員意識調査、社会人学び直し等の現状をレポート、「地域社会」では、学生ボランティア団体の仮設住宅での健康サポート、献体事業、観光振興策、ドローン検証実験、地方創生推進等の取り組みが詳説されているので、大学生としての背景知識強化が期待できる。「入試」は、現行の大学入試のみならず、入試改革に関わる項目まで入念に取材されているので高校

生にとって必須アイテム。センター試験、AO入試、推薦入試、英語の外部試験利用、「大学入学希望者学力到達度テスト(仮称)」、国公立の2次試験等は受験までに確実に目を通しておきたい。また、「トピックス」「ピックアップ記事」「大学検索」にはアピールしたいと思われる点が明記されており、オープンキャンパスや大学訪問の際、活用したい。加えて、「人気記事ランキング」は知的話題づくりにもってこいのネタとなっている。

*

一方、紙ベースの「大学ジャーナル」は、生徒に読ませる工夫をすれば、探求学習のみならず、教科指導や進路指導においても効果は倍増する。読ませる工夫とは、学びの意味を見出し、学び続ける力を育むことが根底にあり、授業内外を問わず、教師側から文字に触れる機会を提供することである。これは、「生徒の学習到達度調査」(PISA, 2015)でも低下したと指摘されている読解力育成にも直結する。

「進路のヒント」における「スヌメリ系」で自然言語処理による人工知能小説執筆についての記事を読んだ生徒は、初級レベルの専門書を購読、情報学に関する興味・関心を深めるのと同時に、「高校生へのメッセージ」の中で、プログラミングは大学へ入ってからでも間に合うが、最近の学生の日本語力が落ちており、説明文の書き方が訓練されていないという一説に奮起、自主的にテクニカルライティングのトレーニングを開始した。また、ある生徒は、役

に立つ数学という観点からのアプローチ、例えば、MRIに使われることで知られるフーリエ変換や相対性理論を記述する言語となったリーマン幾何学、コンピュータに欠かせない有限体の代数幾何学などの事例を通して、既に解かれたものを解く受験科目としてではない数学研究の本質に目を細め、学問の楽しさをどう創造につなげていくかという意味で、進路選択に深みを持たせた。グローバル人材に関する記事を読んだ生徒は、自分の枠を超え、異なるバックグラウンドを持つ人と積極的にコミュニケーションを図り、協働して実践する意義を見出し、なぜ学び、どう生きるかを深く考え、専攻する分野での学際融合を模索しようとしている等々...

教師にとっても有益である。有識者の英語教育論を読んだ教師は、地球的課題解決に向けて、文理融合を基調とした題材を選定、英語による英語の授業をそのコミュニケーションツールと位置づけてティーチング・スタイルにバリエーションを加えた。京都大学の特色入試の問題分析と対策を読んだ教師は合教科・科目の必要性から教科を横断して複眼的に思考するアクティブ・ラーニングを試行錯誤している。

現在、教育界全体がダイバーシティを、イノベーションのための探求型の学び方革命を模索している。職業のあり方が大きく変わることが予測されるだけに、時代に即応する進路指導に向けて、知の生産拠点とも言える大学におけるアカデミックな情報は不可欠だ。一読をお薦めする。

進路のヒント

先生になろう！ 人を育てる、人をケアする、 人に寄りそう人になろう！

戦後の教員養成制度 の問題点と コアカリキュラム

年平均20万人以上、これは教員免許を取得する人数です。複数の職種を取得する人もいますから、実人数は11、2万人といったところでしょうか。年間採用される人数が約3万人強ですから、他の資格に比べると異常に多いことにお気づきでしょうか。

教員資格は医師や看護師、薬剤師などと同じ国家資格ですが、国家試験がなく、大学における所定の課程を修了することで取得できる点が大きく異なります。厳しい言い方をすれば安易に取得することができ、もちろん、そうなるには万が一、教員が不足しては困るといふ国の思惑もあるかもしれません、いずれにしても同じで

複雑化、多様化、高度化する初等・中等教育の現場。それに対応した教員の質の向上が急務とされる中で、教員免許更新制や教職大学院の開設などの改革が行われてきましたが、現在、その切り札として期待されているのが、都道府県および政令指定都市の教員採用試験の共同実施と、教職課程コアカリキュラム※1の導入です。長年、教員養成大学や教職課程の改革に携わり、今、教職課程コアカリキュラム作りを推進されている横須賀先生に、教員養成制度の問題点、その改善点などをお聞きしました。

※1 いずれも2016年12月に提出された中央教育審議会(初等中等教育分科会教員養成部会)答申による。

先生方、生徒さんに 教職の素晴らしさを 伝えてください。

教職課程コアカリキュラムは質の高い教員養成の切り札



前十文字学園女子大学学長
元宮城教育大学学長
横須賀 薫 先生

Profile

1960年東京大学教育学部卒。専攻は教育哲学。東京大学教育学部助手を経て、1968年宮城教育大学教育学部助教授。1970年同助教授、1983年同教授。2000年8月から2006年7月まで同学長。2011年4月から2017年3月まで十文字学園女子大学学長。神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校出身。



とも思っていますし、教員養成の新しいルートが生まれるのではないかと期待もしています。ついでに言うと、古巣批判になりますが、伝統的な養成大学では、いわゆる親学問を担当する教員が、その学問の面白さを熱心に教えるあまり、教職の魅力や魅力を伝えることができない。そのため、せっかく教職を目指していた学生が、教職教育や教科教育よりも学問そのものの面白さに目覚めてしまうケースも少なくありません。現在、国立の養成大学は、ミッションの再定義を機に、いわゆる0免課程を廃止し、教育の質保証を積極的に推し進めています。このような動きが末端の教員組織にまで浸透しているかは疑問です。

現場の実態を踏まえた教育学の確立を目指してきつたつもりです。その中には、戦後日本を代表する偉大な教師※3との出会いもありました。初等であれ中等であれ、子どもたちの可能性を見つけ、またその秘められた力を大きく伸ばす教師という仕事はそれだけでわくわくするものではなく、同時に社会への貢献という点では、これに勝るものはないと言えるくらい素晴らしい仕事だと思っています。

でもここに教員の質を高めるための第一の問題点があります。そもそも教員になる意思はなくても、とりあえず免許だけを取っておこうと考える学生は昔も今も多いため、しかも大学の単位認定は、各教員に委ねられていて、教える内容や評価、単位認定には個人差が出る。これは教員養成に必要な科目においても同じで

すから、教員養成課程というところで学ぶべき科目や単位数が決められてはいるものの、その質においては必ずしも一定とは言えません。教職課程が卒業要件となる大学、学部も多いです。それが増えれば増えるほど、自ずと免許の質は下がり、当然、教員の質も下がります。こうした状況を少しでも改善しようと、現在、国

で検討しているのが、国家試験の代替とされている各都道府県及び政令指定都市による採用試験の共同実施と、教職課程コアカリキュラムの導入です。後

者は学生の学ぶ大学・学部、取得予定免許の学校種の別なく、教職を目指す学生が最低限学修しなければならない内容(コア)を盛り込んだカリキュラムという意味です。具体的にも改善しようと、現在、国

は、学校種間で共通性の高い現在の「教職に関する科目」※2について、全体目標・一般目標・到達目標を定め、(「)することができ(る)などという表現で、習得すべき内容や到達すべき水準を示し、各大学はそれをシラバスに反映しなければならぬとするものです。

私はこれまで、医師や看護師と同じように、教員資格取得には国家試験を課すべきだとたびたび提案してきましたが、戦前の師範学校への根強い批判開放制の原則を第一とする意見や、養成課程を持つ大学、学部・学科がこれだけ増えた以上、国家試験が導

入されるとその合格者数を競う無意味な競争が生まれる、などの声にかき消されてきました。今回の教職課程コアカリキュラムが、採用試験の共同実施と合わせて教員養成教育の質保証につながればと、大いに期待しています。

もつとも、教員の質の向上について考える際のもう一つの問題、つまりいい人材を確保するかにいはい人材を確保するかの問題は残ります。教員免許は比較的楽に取れることから、人生を賭ける仕事と思ってもらえない。あるいは、最近では少し改善されましたが、報酬は世間相場より少々高いけれども、時代の花形業種に比べれば

低い。そのため景気や企業の採用動向によって人数が左右されやすいことも教職の特徴です。クレーム対応も多いというのは医師も同じですが、一般的に考えられている収入がはるかに違う。戦前の師範学校は学費が無償でしかも給費制の奨学金が付きま

したし、戦後の制度でも、ある時期までは、教員には奨学金の返済が免除されていた。その恩恵もなくなった今、教職という仕事の魅力をどのように発信するのか、この問題に関しては政治的判断を待つしかありません。

が、15年ほど前の参入規制撤廃によって、小学校教員養成課程を新設した大学が、一気に増えました。それに対しては、元々多い免許状取得者を一層増やすことにつながるという批判もありました。またこうした大学の多くには、資質と

信するの、この問題に関しては政治的判断を待つしかありません。しかし本学などでは、徹底的なリメディアル教育、つまり中学や高校で学んだことの復習に始まり、丁寧な授業や採用試験対策も含めた実践的な演習を積極的に進めています。すから、学生は目的意識を高め、とてもよく勉強します。最後は学生同士で勉強するようになり、採用試験にもたくさん受かる。また本学のような女子大学では、もともと学生の教職への憧れは強く、教員養成におけるエリート大学出身者の早期退職が目立つ中、離職率も低い。

が、このように免許制度や養成機関のあり方だけによるものではありません。私

はかねがね、生徒の進路指導に当たられている高校の先生方にもっと教職という仕事の素晴らしさを伝えてほしいとお願ひしてきました。

私は入学した大学の入学式で、当時の総長が式辞で、「みんなの行きながら、みな農学部や教育学部へ行きなさい」と言われたのに触発されて進路を決めました。そして教育学を学ぶ中で、常に現場と触れ、

現場の実態を踏まえた教育学の確立を目指してきつたつもりです。その中には、戦後日本を代表する偉大な教師※3との出会いもありました。初等であれ中等であれ、子どもたちの可能性を見つけ、またその秘められた力を大きく伸ばす教師という仕事はそれだけでわくわくするものではなく、同時に社会への貢献という点では、これに勝るものはないと言えるくらい素晴らしい仕事だと思っています。

少子化が進む中で、各大学は生き残りかけた競争を強いられています。そのため、大学の序列化や競争を意図的に作り出す必要もあるかもしれません。そしてその中で、中学校や高等学校の先生方もまた、受験のための教育にも力を入れないで、試験の成績で競争を煽るのではなく、まじい点を取るための手法を教えることではないはず。勉強することの意義、その楽しさを教えること、そして生徒一人ひとりにあった進路を見極めアドバイスしてあげる。目下進められている大学入試改革は、先生方がみな、そうした本来の教育に立ち戻らざるを得ない機会になるはず

です。

次期学習指導要領では小学校高学年で外国語(英語)が教科になるのに合わせて、平成31年度以降に入学して小学校教職課程を選択する学生はすべて、外国語の指導法(外国語活動の指導も含む)学ばなければなりません。それに先立ち今春には、小学校・中高等学校の教員養成と教員研修について、その内容や到達目標を示す英語コア・カリキュラムが公表されました。文部科学省の委託を受けた東京学芸大学で※、その事業を統括された粕谷先生に、その狙いと、小学校教員を目指す高校生へのメッセージをお聞きしました。

※ 正式名は、文部科学省委託事業「英語教員の英語力・指導力強化のための調査研究事業」



東京学芸大学教育学部
人文社会科学系
外国語・外国文化研究講座
英語科教育学分野 教授
粕谷 恭子 先生

イメージは大きく変わると思っています。私たちが文部科学省の委託を受け、英語コア・カリキュラム作りを取り掛かったのは2年前。一昨年、昨年度と関係各所に意見を求め、一昨年度末に試案を出し、今春、完成しました。小学校の教員養成については「授業実践に必要な知識・理解」と「授業実践」で構成される2単位

程度と想定している「外国語の指導法」と、「授業実践に必要な英語力と知識」を学ぶ1単位程度と想定している「外国語に関する専門事項」で構成されます。各項目ごとに(一般)目標、学習項目、到達目標を示し、

私は長年、戦前の師範学校の流れを汲む国立の教員養成大学で教え、その運営にも携わってきました。その後は今春まで、新しく小学校教員養成課程を設置した大学で教えた。管理運営に携わってきましたが、この間、新たな発見もありました。この大学の

新しい教員養成
ルートに期待

先生方の応援こそ、
未来の教員を育てる
最大の力

※3 横須賀先生は、戦後日本を代表する教員の一人とされる藤原喜博(さいとう)先生は、1911年3月20日(1981年7月24日)から大きな影響を受け、その研究者としても知られる。

※3 横須賀先生は、戦後日本を代表する教員の一人とされる藤原喜博(さいとう)先生は、1911年3月20日(1981年7月24日)から大きな影響を受け、その研究者としても知られる。

教職課程コアカリキュラムに先駆けて 外国語(英語)コア・カリキュラムを公表

小学校英語の低年齢化・教科化で、 子どもたちが変わるチャンスがまた一つ増えます

訂を経て、漸く次期指導要領で高学年での教科化に至りました。この間、実に様々な議論がなされてきました。確かに、それだけでなく忙しい先生方の負担がさらに増えるのではないかと、教えることが一つ増えれば負担が増えるのは間違いありません。

また中学や高校時代に英語の成績のよかった人でも、英語を聞いた話したりすることに、発音も含めて、苦手意識を持つている人が多いかもしれません。しかし音楽や体育、図工も、先生のすべてが得意なわけではないと思います。国語や算数でも同じこと。理系は苦手という人もいます。教科担任制ではない仕組みの中で、何もかも得意な人はいないのではないのでしょうか。

大学で外国語の指導法を学ぶことを通じて、授業の中で、子どもたちがどのような言語経験をする必要があるのか理解することができれば、何もかも自分がしなければならぬ、自分が全英語の責任を負わねばならない、と思わな

英語ができるいじりも子どもを教えるプロにもいじりが大事

小学校での英語教育は、その必要性が説かれるようになってから、2度の学習指導要領の改

訂を経て、漸く次期指導要領で高学年での教科化に至りました。この間、実に様々な議論がなされてきました。確かに、それだけでなく忙しい先生方の負担がさらに増えるのではないかと、教えることが一つ増えれば負担が増えるのは間違いありません。

また中学や高校時代に英語の成績のよかった人でも、英語を聞いた話したりすることに、発音も含めて、苦手意識を持つている人が多いかもしれません。しかし音楽や体育、図工も、先生のすべてが得意なわけではないと思います。国語や算数でも同じこと。理系は苦手という人もいます。教科担任制ではない仕組みの中で、何もかも得意な人はいないのではないのでしょうか。

大学で外国語の指導法を学ぶことを通じて、授業の中で、子どもたちがどのような言語経験をする必要があるのか理解することができれば、何もかも自分がしなければならぬ、自分が全英語の責任を負わねばならない、と思わな

大学で外国語の指導法を学ぶことを通じて、授業の中で、子どもたちがどのような言語経験をする必要があるのか理解することができれば、何もかも自分がしなければならぬ、自分が全英語の責任を負わねばならない、と思わな

英語ができるいじりも子どもを教えるプロにもいじりが大事

小学校での英語教育は、その必要性が説かれるようになってから、2度の学習指導要領の改

訂を経て、漸く次期指導要領で高学年での教科化に至りました。この間、実に様々な議論がなされてきました。確かに、それだけでなく忙しい先生方の負担がさらに増えるのではないかと、教えることが一つ増えれば負担が増えるのは間違いありません。

また中学や高校時代に英語の成績のよかった人でも、英語を聞いた話したりすることに、発音も含めて、苦手意識を持つている人が多いかもしれません。しかし音楽や体育、図工も、先生のすべてが得意なわけではないと思います。国語や算数でも同じこと。理系は苦手という人もいます。教科担任制ではない仕組みの中で、何もかも得意な人はいないのではないのでしょうか。

大学で外国語の指導法を学ぶことを通じて、授業の中で、子どもたちがどのような言語経験をする必要があるのか理解することができれば、何もかも自分がしなければならぬ、自分が全英語の責任を負わねばならない、と思わな

英語ができるいじりも子どもを教えるプロにもいじりが大事

小学校での英語教育は、その必要性が説かれるようになってから、2度の学習指導要領の改

子どもたちが生きる時代に 責任をもちたい

「情報端末はアダプティブ(個別への適応性がある)で、アシスティブ(補助的)でトライ&エラーも容易にするから、児童に一人一台用意すれば、質の高いアクティブラーニングが可能になる」——こう語るのは、公立小学校での情報端末を使った実践で知られ、自らもICT教育のエヴァンジェリストと称する松田孝先生。昨年度は現在は総務省の「先導的教育システム実証事業」「若年層に対するプログラミング教育の普及推進」事業の協力校の指定を受けた小金井市立前原小学校の校長を務める。これまで世界のトップレベルとも評価されてきた日本の初等教育。グローバル化や少子化の波にさらされる中、その伝統の上に、ICTによる新しい教育モデル、新しい学校像、教員像を構築しようと、「勉強という言葉

大局観と時代認識、 10のものを100に するマインドを

少し乱暴で意地悪な言い方をすれば、将来、教員を目指すなら、予め決められたルーティンにこだわる必要はないと思っています。

英語ができるいじりも子どもを教えるプロにもいじりが大事

小学校での英語教育は、その必要性が説かれるようになってから、2度の学習指導要領の改

訂を経て、漸く次期指導要領で高学年での教科化に至りました。この間、実に様々な議論がなされてきました。確かに、それだけでなく忙しい先生方の負担がさらに増えるのではないかと、教えることが一つ増えれば負担が増えるのは間違いありません。

また中学や高校時代に英語の成績のよかった人でも、英語を聞いた話したりすることに、発音も含めて、苦手意識を持つている人が多いかもしれません。しかし音楽や体育、図工も、先生のすべてが得意なわけではないと思います。国語や算数でも同じこと。理系は苦手という人もいます。教科担任制ではない仕組みの中で、何もかも得意な人はいないのではないのでしょうか。

大学で外国語の指導法を学ぶことを通じて、授業の中で、子どもたちがどのような言語経験をする必要があるのか理解することができれば、何もかも自分がしなければならぬ、自分が全英語の責任を負わねばならない、と思わな

英語ができるいじりも子どもを教えるプロにもいじりが大事

小学校での英語教育は、その必要性が説かれるようになってから、2度の学習指導要領の改



小金井市立前原小学校校長
松田 孝 先生

Profile
東京学芸大学教育学部卒業、上越教育大学大学院修士課程修了、東京都公立小学校教諭、指導主事、主任指導主事(指導室長)等を経て現職。ノートPCやタブレット端末等のICT機器の積極的活用によるICT教育&プログラミング教育により、授業、教員そして地域のレベルを促し、新たな教育の地平を拓いている。東京都立松原高等学校出身。

は若いみなさんですから、そういう思いをもって、その次の世代を形成する子どもたちに接してほしいわけです。

当然、現在のテクノロジーの成果も、授業に積極的に取り入れてほしいと思います。そのためには、少なくともICTのリテラシー、教育に有効な様々なソフトウェアの使い方は身に付けておきたいものです。

私の専門は小学校の社会科ですが、その中でGoogle Earthを使わないのはもはや無謀だとさえ思っています。たとえば、5年生で最初に学ぶ日本の国土理解の授業では、領海、領域について日本の東西南北の端を確認しますが、最南端が東京都の沖ノ鳥島です。これをGoogle Earthで確認すると、確かに《ただの岩》と言われても仕方ないようなにも見えます。しかしその後、東京都が企画・制作した「知っていますか? 沖ノ鳥島の秘密」をYouTubeで見ると、なぜそれを必死に守らねばならないのかをみんなが考えてみると、授業は一気に広がって深まります。

英語ができるいじりも子どもを教えるプロにもいじりが大事

小学校での英語教育は、その必要性が説かれるようになってから、2度の学習指導要領の改

訂を経て、漸く次期指導要領で高学年での教科化に至りました。この間、実に様々な議論がなされてきました。確かに、それだけでなく忙しい先生方の負担がさらに増えるのではないかと、教えることが一つ増えれば負担が増えるのは間違いありません。

また中学や高校時代に英語の成績のよかった人でも、英語を聞いた話したりすることに、発音も含めて、苦手意識を持つている人が多いかもしれません。しかし音楽や体育、図工も、先生のすべてが得意なわけではないと思います。国語や算数でも同じこと。理系は苦手という人もいます。教科担任制ではない仕組みの中で、何もかも得意な人はいないのではないのでしょうか。

大学で外国語の指導法を学ぶことを通じて、授業の中で、子どもたちがどのような言語経験をする必要があるのか理解することができれば、何もかも自分がしなければならぬ、自分が全英語の責任を負わねばならない、と思わな

英語ができるいじりも子どもを教えるプロにもいじりが大事

小学校での英語教育は、その必要性が説かれるようになってから、2度の学習指導要領の改

訂を経て、漸く次期指導要領で高学年での教科化に至りました。この間、実に様々な議論がなされてきました。確かに、それだけでなく忙しい先生方の負担がさらに増えるのではないかと、教えることが一つ増えれば負担が増えるのは間違いありません。

また中学や高校時代に英語の成績のよかった人でも、英語を聞いた話したりすることに、発音も含めて、苦手意識を持つている人が多いかもしれません。しかし音楽や体育、図工も、先生のすべてが得意なわけではないと思います。国語や算数でも同じこと。理系は苦手という人もいます。教科担任制ではない仕組みの中で、何もかも得意な人はいないのではないのでしょうか。

大学で外国語の指導法を学ぶことを通じて、授業の中で、子どもたちがどのような言語経験をする必要があるのか理解することができれば、何もかも自分がしなければならぬ、自分が全英語の責任を負わねばならない、と思わな

英語ができるいじりも子どもを教えるプロにもいじりが大事

小学校での英語教育は、その必要性が説かれるようになってから、2度の学習指導要領の改

連載
その10

哲子の 相談室

日本文理大学
特任教授
北岡 哲子

Profile

異分野から工学の世界に入り、感情・表情・脳と癒しをテーマに北岡オリジナル癒し工学を提唱。工学、医学、芸術、心理学、環境学、社会学、宗教人類学の学際研究に従事している。08年12月に日本機械学会計算力学部門に「癒し工学研究会」を設立。09年、東京工業大学において博士(工学)を取得。日本機械学会、日本感性工学学会、日本早期認知症学会、日本脳電位学会会員。2011年日本機械学会「癒し工学研究分科会」主査。東京工業大学大学院助教を経て、2015年4月より現職。他に自動車事故対策機構 自動車アセスメント等技術検討ワーキンググループ「予防安全技術検討ワーキンググループ」委員。著書は『癒しは科学で手に入る』(幻冬舎ルネッサンス新書)。2015年春からは、日経テクノロジーオンラインで「スポーツをテクノロジーする」を、電気新聞で「癒し工学の散歩道」を連載中。青山学院高等部出身。

どうする担任への不満?

教員養成を考える糧にもしたい

相談 高2で公立の進学校に通っていますが、頭の中を占めているのは、ただただ学級担任を代えてほしいということ。わが校では3年間クラス替えがなく、学級担任は持ち上がり。2年目となる私たちの担任は、まだクラス全員の名前も憶えておらず、HRでは「勉強しろ、部活をがんばれ」というだけ。個人面談は一度もなく、進路相談を持ちかけても「進路指導部に相談しろ」と逃げる始末。文化祭等の行事については「省エネで済ませて勉強しろ」の一点張り、生徒は誰一人信用していません。自分としてはもうこれ以上、我慢できません。一人で校長に直訴するか、有志で訴えるか、クラス全員の連名にするか、ということまで悩んでいます。

回答 日々のフラストレーション、お察ししますが、このご相談で高校になっても担任の存在は大きいのだと、なんだかうれしくなりました。

ちょっと脱線しますが、長男は大学附属の小学校から高校まで進みました。小学校では6年間に一度だけ、4年生の時にクラス・担任替えがありました。付属中学への進学では約1クラス分の人数が進学できなかったため、3年になったとたん保護者の話題の中心は、クラス・担任替えだったことを思い出します。どの先生も指導力に優れた方ばかりでしたが、進学には4年から6年までの3年間の内申点が、6年でされる進学試験の何倍も

大きく見られるため、おとなしい子供をもつ親は、自己主張できる生徒が好きな先生に当たると不利になるのでは、と非常に心配したものです。因みに慶応の幼稚舎は6年間、一度もクラス替えがないと聞き、基本的に全員が中学進学できるから問題にならないのかしら、羨ましいと話題になったこともあり。長男の通った学校は、すでに小学校から教科の授業は専門の先生が教える専科制で、中学では、クラス・担任替えは1年生の時に一度あるだけ、高校では3年間ありませんでしたが、担任との関わりは薄く、不満を耳にしたことはありませんでした。

私の友人の多くが通っていたもう一つの同じ大学附属の高校では、毎年クラス替えがありますが、学年の担任団は同じなので担任が3年間変わらない可能性はあります。けれどやはり、担任との距離が近くないので、合おうが合うまいが話題にもならないと聞いていました。だからご相談からは、担任と密な関係を保ちたいという意識、もちろん評定の問題も絡むのですが、そのエネルギーのようなものを感じてうれしくなりました。

担任でなく専科の先生の教え方に不満があり、校長に直訴したという地方の進学校での話を聞いたことがあります。授業に関する質問は、その授業内に皆の前で聞くという学校のきまりがあるのに、超難関大出身の若い英語の先生が、「質

問は授業の妨げになるからするな」とどなり、生徒たちが授業をボイコットし校長に有志で直訴するまでに発展したそうです。公立校でしたから、その先生は異動させられ、問題は解決したそうですが。

ご質問の問題のある先生については、校長先生は評判をすでにご存じだと思いますから、皆さんとしては早く気持ちを聞いていただくのがよいと思います。この先生はおそらく、担任としてだけでなく、他にも問題がありそうですから、校長先生が総合的に判断されるはずで。

なお、指導者に不満があると、学生や生徒の間にある種の連帯感が生まれることもよくあります。私が所属していた大学でも、放任主義で知られた教授がいました。たとえば、研究室に修論発表の年の学生がいるのに、突然何のケアもせず、1年間海外に行ってしまう、その学生は、困り果てた末、面倒をみてくださる他の研究室の教員を自力で探し、無事修論を完成させ、その後学位も取って今は大学の教員になっています。自分の学生を放ったらかしにして海外へ行ってしまう先生も先生ですが、その学生曰く、担当教授のネグレクトのおかげで何が起ころうと自力で対応する力がついた、と。ついでに言えば、その研究室全体も、それはそれはまともでした。OBも後輩の面倒見がよく、リーダーシップを発揮する人が何人も現れるなど、頼る教授がいなくても生きていける力が育まれたようです。しかし、これは優秀な大学生だけ

ら成り立つ話です。私は教員として興味があり、この教授に、このことをどう感じているのかそれとなく伺ってみました。すると、なんとご本人は放置している意識は皆無で、自分は学生第一義で生きてきたと真剣に語られるのです。驚きでしたが、教員の中には学生の評判を知らずに、自分はよい教師だと認識している人もいるということです。

また経験上、1クラスに一人や二人、担任と合わない生徒は常にいるものです。社会に出て、あの先生とは二度と会いたくない、友人がいたから登校拒否にはならなかったけれど学校にはいやな思い出しかない、という話も珍しくありません。それにつけても、人生に与える影響が大きい教員という仕事は心してかからなければいけないものであるだけでなく、まじめに自分のやり方を貫こうと努力しても、時には生徒、学生に嫌われたりする役わりでもあるのだとつくづく考えさせられます。

この点については本題と離れますが、教員養成には、大学の教育学部卒業者と他学部卒業からの2つのルートを用意し、異なる試験で、採用後の研修も別のプログラムで行うなど、それぞれの適性を伸ばせるようにしたらどうでしょうか。そうすればもっともっと魅力的な教員が養成でき、学生の目にも教員という仕事が魅力的なものに映るはず。人間的な魅力と備えた人が今よりもさらに多く教職を目指すようになれば、教育現場はさらに活性化するのではないのでしょうか(続く)。

このコーナーでは読者からの相談を受け付けています。お気軽に下記のアドレスへご連絡下さい。kitaokatk@nbu.ac.jp

シリーズ 大学が地域の核になる—京都文教大学の挑戦

まちを舞台に、独自のテーマでまちあるきを企画

京都文教大学では、地域を対象とする学生の自主的活動の中から、地域特性を活かしつつ、成果が期待できる取組を「地域連携学生プロジェクト」として選定し支援、助成している。

2016年度は4プロジェクトが採択されたが、そのうち3つは大学の所在地である宇治市の中心部「中宇治」を拠点に、専門性を活かした「まちあるき」を行う。それぞれ「宇治茶」「商店街」「アニメ」と掲げるテーマは異なるが、中宇治の魅力発信と地域課題の解決に取り組んでいる。

宇治☆茶レンジャー「聞き茶巡り」

宇治茶について学び、その魅力や楽しさを広く地域に発信する、今年度で8年目を迎えるプロジェクト。例年、秋に親子を対象に開催する「宇治茶スタンプラリー」は、1万人もの参加者が集まる人気イベントに育っている。もうひとつの柱となるのが「聞き茶巡り」。中宇治地域のお茶屋を巡り、店主の話に耳を傾けながら、各店舗のこだわりのお茶を頂く企画で、6年継続して実施している。

2016年度は、学生が案内人を務め、お茶屋のみならず、宇治茶を通して育ってきたまちの景観や建物の特徴などを伝えながら、参加者とともにまちを歩くガイドツアー形式で実施した。企画内容の変更は、これまで人気を博していた企画ゆえのプレッシャーもあったが、学生たちは実施までに何度も現地を訪れ、訪問する店ではガイドするにあたってのポイントや内容を確認、ガイド原稿や案内用フリップの作成など細かい点にも配慮し、イベントの質向上に努めてきた。2016年度は3回実施し、各回とも定員を上回る申込みがあるなど、相変わ

らずの人気で、当日の参加者からは、「より深く宇治茶について知ることが出来た」「学生の真摯な態度が良かった」など高い評価を得ることができた。学生自身も、ガイドをするにあたり、宇治茶の勉強にも力を入れたことで、知識が増え、そしてそれを伝えることの難しさや大切さを知ることができた。今回の「聞き茶巡り」の展開は、学生たちの成長にも繋がり、またイベントの対象者を考える上でいい指標を得られるものとなった。学生たちは2017年度もプロジェクトを継続する旨を表明しており、今回の経験がどう活かされるか期待したい。

商店街活性化隊 しあわせ工房CanVas「宇治ロゲイニング」

サテライトキャンパスがある宇治橋通り商店街と連携し、商店街の魅力発信、認知度向上、立ち寄り客の増加など、まちの賑わい創出に取り組むプロジェクトで、2015年からは新しいまちあるきイベントとして「宇治ロゲイニング」を開催している。「ロゲイニング」とは、地図

上に設定されたチェックポイントを決められた時間内で巡り、チェックポイント通過の証明に目印を撮影した写真をSNSで発信、それを得点化して、時間内に獲得した合計得点を競うチームスポーツ。

2014年に研修で訪れた香川大学で出会い、宇治橋通り商店街でも実施できないかと考えてきた。商店街での実施にあたって重要

視したのは、参加者がゲームを楽しみながら各店舗に気軽に入る仕組みづくり。宇治橋通り商店街は、JR宇治駅と平等院を繋ぐ道として、多くの観光客が利用するが、そのほとんどは通過するだけで、店舗に足を踏み入れる人は限られている。しかし、個人商店ばかりのこの商店街には、個性的な商品を扱う店や、話し好きの店主がいるなど面白い店が多いため、イベントを通して各店舗の魅力を発信することも目的とした。そのためにチェックポイントに商店街の理事長などの人物ポイントを加えたり、商店街の店舗で買い物をした様子をアップすると得点が得られるなどの工夫も凝らした。まだまだ知名度の低いイベントだが、今後も商店街と意見交換しながら、より良いイベントに育て、継続実施していく方針だ。

響け! 元気に応援プロジェクト「探訪ウォーク」

宇治を舞台にした高校吹奏楽部のアニメ作品「響け! ユーフォニアム」を通して、作品やア



ニメのファンと「聖地(舞台)」である宇治(特に中宇治エリア)地域を繋ぐ取組を行っている。独自企画として、作品の登場人物の誕生日を祝いイベントや、ファンたちが結成した吹奏楽団によるコンサート、子どもを対象とした楽器づくりワークショップなどを展開する一方、行政や地元企業とのコラボ企画にも積極的に参加している。そのなかで、2016年、2017年と2年間継続して実施している催しが、京阪電車が中心となり、宇治市、宇治市観光協会、宇治商工会議所、そして京都文教大学が主催する「コラボレーションフェスタ」。この中で、響け! 元気に応援プロジェクトは「ガイド付き! スペシャル探訪ウォーク」を担当している。学生が案内人となり、作品に登場した舞台(聖地)を案内するもので、当日は、先着60名の枠を超える90名の参加があった。ガイドコースの選定も学生たちが行き、京阪宇治駅を拠点に、主人公の帰り道や、お祭りのシーンで登場する神社、姉への手紙を投函したポストなどの有名なシーンからファンならではの重要シーンまで幅広く取り入れ、約2時間の周遊コースにまとめた。

また、ガイド内容には、アニメの話のみならず、周辺の観光案内や歴史的な背景なども盛り込み、アニメの魅力と宇治のまちの魅力の発信に努めた。今回は、京阪電車を中心とした大きなイベントの一つという位置付けだったが、今後は、独自に実施できる体制も整えていきたいと意気込んでいる。



雑賀恵子の 書評

雑賀 恵子

京都薬科大学を経て、京都大学文学部卒業、京都大学大学院農学研究科博士課程修了。大阪産業大学他非常勤講師。著書に『空腹について』(青土社)、『エコ・ロゴス 存在と食について』(人文書院)、『快樂の効用』(ちくま新書)。大阪教育大学附属高等学校天王寺学舎出身。



アナキズム入門

森 元斎

ちくま新書 2017年

のっけから、飛ばしてくれるんです。森元斎センセは。古本屋で見つけたハキム・ベイの本の「存在論的アナキズム、詩的テロリズム」というサブタイトルにがっかり掴まれたらしい。高校生の時である。パンクのセックス・ピストルズからシチュアシオニスト、そしてアナキズムへと大学に進んだ若き森センセが走るの、まずはカッコいいから。政府やでっかい企業を批判するピストルズ。国家も、党も、ともすれば社会も要らない。自由に突っ走る。アナキズム。くらくらとやられてしまう。

アナキズムとは、ギリシア語のan(無) arche(根源、政府、統治、権力)を語源に持つ。鶴見俊輔の「アナキズムは、権力による強制なしに人間がたがいに助け合って生きてゆくことを理想とする思想」という言葉にはたと手を打ち、これだ、と思想を生き方と合致させようとする。

アナキズムを広く知らしめるための入門書として、代表的なアナキスト5人を取り上げ紹介したのが本書だ。とはいえ、アナキズムの熱い宣教者である森センセの手にかければ、勢揃いアナキスト5人衆とでもいうような趣だ。ずらりと居並ぶは、アナキズムの生みの親にして知恵者ブルードン、奇人天才猪突猛進型熱意の人バクーニン、人格者で学者としてもピカイチ理論派の聖人クロボトキン、同じく秀逸極まる学者であると同時に実践活動家でも文武両道常に移動を続ける人ルクリュ、そして、傀儡政権王党派共産党が入り乱れ群雄割拠状態のウクライナを駆け抜けた暴れん坊マフノ。

いずれも熱い。ちょっとあつ苦しい…かも

れない。何より書いている森センセが、一番熱い。アナキズムへの愛、だ。革命を起こすべく生き抜いたバクーニンは、この世のための幸福を囁く。「第一に自由のために闘い死ぬこと、第二に愛と友情、第三に科学と芸術」(以下10代の読者を慮って省略)。アナキストは叛逆する、いかなる形態であるかを問わず、権力に、権威に対して叛逆する——と云ってアナキズムという言葉が明確に打ち出したのがクロボトキン。もちろんアナキズムは、ただ権力を否定し叛逆するだけではなく、抑圧のない真の自由な状態の中で共に分かち合い生きる関係、平和と友愛に満ちた世界を希求する。目指すはアナナルコ・コミュニズムだ。

カッコいいけれども、現在の私たちの社会や生活と結びつけるには遠い思想に見えるだろうか。いや違う。生きられた発話で織りなす生活にしっかり足をつけ、論理や理性、近代や国家、そして権威と向き合うこと。生の古層を手繰り寄せて振り起こし、今ある見せかけの土壌を変える。思想史を学ぶということは、そういうことなのだろう。つまりは、自らを常に変革の途上に置くこと、なのだ。

16歳から の 大学論

京都大学
学際融合教育研究推進センター
准教授
宮野 公樹先生

Profile

1973年石川県生まれ。2010～14年に文部科学省研究振興局学術調査官も兼任。2011～2014年総長学事補佐。専門は学問論、大学論、政策科学。南部陽一郎研究奨励賞、日本金属学会論文賞他。著書に「研究を深める5つの問い」講談社など。

第9回

「役に立つ研究 or 役に立たない研究」について

今年度もよろしくお願ひします。いきなりですが、先日、学術界で権威あるとされるイギリスの科学雑誌『ネイチャー』が、我が国の重要な科学論文数が著しく減少していると指摘する記事を発表しました。「世界のハイレベルな68の科学雑誌に掲載された日本の論文の数」が過去5年で8%減少。「日本の科学研究がこの10年で失速しており、世界の科学界のエリート(を輩出する日本)の地位が脅かされている」とのこと。これを受けて、我が国では「安定的な研究費を削り、そのぶんを競争によって獲得する研究資金へ移行してきた政策が悪かったのではないかとか、「社会にとって有益な研究や、その課題解決を目的とした研究ばかりでなく、役に立たない研究をもっと大事にすべきなのでは」といったような論調も目立っています。

これらの議論の情けないことと云ったらありません。特に「役に立たない研究が大事」などと言っている限りは、我が国の研究は決して進化もしなければ、深化もしないでしょう。この連載を初回から読んで頂いている読者の方がおられたなら、筆者が何を言いたいのか、どのように考えているのかについて察しが付くと思います。

まず、そもそも「役に立たない」または「役に立つ」とはどういうことか、から考えましょう。すると考え出した1秒後には、「いつかは役に立つ、という言葉が浮かび、役に立つか立たないかは時間の問題なのでは?」という考えに行き着くでしょう。であれば、「いつか」とは「いつ?」なのかというのが論点でしょう。つまり、役に立つと言える状態になるのが現時点からどのくらい遠いか、それ

で役に立つor役に立たないかを判断するということです。しかし、その役に立つときが「いつ」くるのかなど、誰にわかりましょうか… さらにいうと、役に立つというのは「何」になのか、あるいは「誰にとって」なのか? 「その研究を求めていた!」という人もいれば、「そんなの要らない」という人もいて当然です。つまり結論的に言うなら、この世のすべての研究は「いつか誰かの何かに役に立つだろう」ということです。言い換えると、「役に立たない研究」というのはありえないわけです。「役に立たない研究が大事」などと騒ぐのは、物事を、意味を、言葉を、深く考える習慣がない決定的な証拠です。

もちろん筆者にだって、経済発展、あるいは社会問題や社会的課題の解決に直接的に寄与する研究だけでなく、研究者の興味関心によって何かを突き止めようという研究も大事だと言いたいことぐらいはわかっています。しかし、そんなに研究者の興味・関心とやらはたいそうなものなのでしょうか。それは一般の方々のそれとどこが違うのでしょうか。

例えば、昆虫の研究者と昆虫マニアとの違いはどうでしょう? 学術研究の形式に則っているとか、高度な研究装置を使っているとか、それはあくまでも外形的な違いにすぎません。では、いったいぜんたい昆虫の研究者と昆虫マニアの根本的な違いはどこにあるのでしょうか。しかも、前者には国費が投入されています。なぜ、研究者の興味・関心にはお金をつけてもらえるのか。これについては次号で詳しく述べますが、それまでにみなさんも考えてみてほしいと思います(続く)。

どうして 数学を学ぶの?

第52回

パラボラアンテナの仕組みを体験する!?

御園 真史

島根大学教育学部数理基礎教育講座准教授、博士(学術)

研究室公式ホームページ <http://misono-lab.info/>
Twitter ID misono_net

今回は、数学を活用した面白いオブジェクトを紹介したいと思います。私は、島根県松江市に住んでいますが、それは、松江市のソフトビジネスパーク島根という比較的近年開発された研究開発型工業地区の公園で見つけました。

まずは、写真1をみてください。青い円形のもの2つ向かい合っています。もう少し近づいてみましょう。今度は写真2をみてください。

単純な円形ではなく、おわん型になっているのにお気づきでしょうか。

写真3をご覧ください。「パラボラベンチ」と書かれています。

パラボラアンテナのパラボラです。この公園には、パラボラアンテナと同じような形のオブジェクトが2つ設置されていて、ベンチですから、座れるようになっています。

ここに腰掛けるとどんなことが起きるのでしょうか。

実は、写真1のように、2つのパラボラベンチは、ある程度離れたところにあります。このベンチに2人の人が腰掛けると、大きな声を出さなくても会話ができます。普通の大きさの声で話しても、十分に大きな声で聞けることができるといえば良いでしょうか。

では、なぜ声が大きく聞こえるのでしょうか。それは、パラボラのもつ性質のおかげです。



写真1

パラボラはparabolaとつづり、辞書で調べてみると「放物線」という意味です。

パラボラアンテナの「おわん」も、放物線を回転させてできる空間図形で「放物面」という図形になっています。放物線や放物面には、「焦点」と呼ばれる点があります。

「おわん」でキャッチした電磁波は、反射します。「おわん」を放物面にすると、反射した電磁波はすべて焦点に集まります(図参照)。これによって、例えば宇宙空間からやってきた微弱な電波もかき集めることで強くすることができます。

これを体験できるようにしたのが、パラボラベンチです。電波ではなく、音波を使って体験できます。ベンチに座ると、背の高さでもありますが、おおむね耳の位置に焦点がくるという設計ではないかと思ひます。

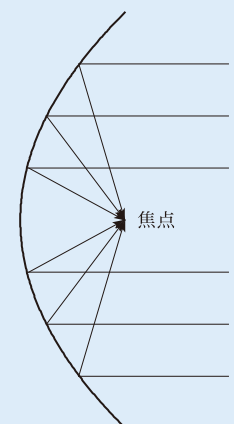
ぜひ、このパラボラベンチを試しに、松江市を訪れてみてください!



写真2



写真3



南山大学外国語学部、2018年度入学試験よりAO入学審査を導入

南山大学(愛知県名古屋)は、2018年度入学試験より外国語学部において「AO入学審査」を新たに実施する。出願資格として、各学科が定める外国語外部試験の基準スコア(レベル)を満たすことが必要となる。

南山大学(愛知県名古屋)は、2018年度入学試験より外国語学部において「AO入学審査」を新たに実施する。出願資格として、各学科が定める外国語外部試験の基準スコア(レベル)を満たすことが必要となる。

この理念のもと、入学者に求める資質として、世界各地のさまざまな言語、文化、社会に対して強い関心と学習意欲を持つ人々、異文化に対する開かれた姿勢を持ち、文化や価値観の多様性を尊重するとともに、積極的な態度で他者と協働して学ぶための協調性を備えた人々、入学後の学びの基礎となる中等教育の諸教科についての基礎知識を有するとともに、問題を解決するための思考力、判断力、表現力を備えた人々の3点を挙げています。

今回、「AO入学審査」を導入した狙いは、外国語学習に対する適性を有し、異文化に対する強い関心を抱いた学生を多く受け入れるため。実用英語技能検定(英検)など外国語の外部試験で一定レベルの成績を有している受験生に対し、書類審査、小論文、面接の審査を通じて、専門領域に関する知識や表現力、論理的思考力、判断力を評価する。さらに、主体的に外国語を学ぶ姿勢や、異文化を受け入れて多様な人々と協働する能力、ならびに学修・専攻のキャリア・プログラムとの適性を総合的に判断して合格を判断する。

千葉商科大学(千葉県市川市)は、「一般入試・大学入試センター試験利用入試(総合評価型)」を2018年度入学者に向けて新たに導入すると発表した。既存の学力を評価する試験の得点に加え、高校が提出する調査書では「評定平均値」「出欠状況」「資格・検定等の取得状況」「クラブ、生徒会、ボランティア活動等の課外活動状況」の4つの項目を総合的に評価し、合格を判断する。

総合評価型導入の目的は、入学希望者の学力検査だけでは計りきれない主体性や協働性などの意欲、及び実績を多面的かつ総合的に評価すること。また「高大接続改革実行プラン」の大学入試改革として文部科学省が提唱する「意欲・能力・適性等の多面的・総合的な評価」を実現する。さらに、この試験制度によって「実社会の多様な人々との連携とアクティブラーニングにより主体性・協働性・公平性を身につける意欲を持つ学生」など、同大学のアドミッション・ポリシー(入学希望者に求める能力や資質に関する考え方)に沿った学生を獲得することも目指す。

工学院大学の志願者数が過去最多の2万人を突破、女子学生比率も20%に



組みの基本を理解し、経済学の基礎を身に付けることを目的としており、経済学部の1年生が履修する科目となっている。大学生と通常の授業を一緒に受講することで、大学の学びを体感し、将来の学部選択に役立ててもらおうが狙い。

工学院大学の志願者数が過去最多の2万人を突破、女子学生比率も20%に

工学院大学は、2017年度入試において一般入試志願者数が8年連続で増加し、過去最多となる2万人を超えたと発表した。入学志願者増の要因として、「社会のニーズに応じた学部・コースの改革と新設」を最優先事項と位置づけ、長期にわたり計画的に様々な事業を展開してきたことを挙げている。

また、入学志願者と入学者数ともに女子学生比率が全体の20%を占めるほど増加。今後は、女性の技術者、研究者、建築士などの人材を育成し、社会に送り出すことで「働き方改革」への貢献にも繋げたい考えだ。

数と入学者の質の確保を課題としてきた同大学は、2037年に迎える学園創立150周年に向け、方向性や社会における存在意義、および基本的価値を示す「Vision150」を2011年に策定。中期計画「コンパス2017」において「建築学部(日本初)」「先進工学部」「情報学部システム数理学科」「工学部電気電子工学科」など学部・コースの改革と新設を中心に取り組んできた。

数と入学者の質の確保を課題としてきた同大学は、2037年に迎える学園創立150周年に向け、方向性や社会における存在意義、および基本的価値を示す「Vision150」を2011年に策定。中期計画「コンパス2017」において「建築学部(日本初)」「先進工学部」「情報学部システム数理学科」「工学部電気電子工学科」など学部・コースの改革と新設を中心に取り組んできた。

千葉商科大学が「総合評価型入試」を導入 課外活動なども点数化

千葉商科大学は、2018年度入学試験において「総合評価型入試」を導入すると発表した。従来の学力検査に加え、課外活動やボランティア活動、クラブ活動などの実績を多面的かつ総合的に評価すること。また「高大接続改革実行プラン」の大学入試改革として文部科学省が提唱する「意欲・能力・適性等の多面的・総合的な評価」を実現する。

また、入学志願者と入学者数ともに女子学生比率が全体の20%を占めるほど増加。今後は、女性の技術者、研究者、建築士などの人材を育成し、社会に送り出すことで「働き方改革」への貢献にも繋げたい考えだ。

数と入学者の質の確保を課題としてきた同大学は、2037年に迎える学園創立150周年に向け、方向性や社会における存在意義、および基本的価値を示す「Vision150」を2011年に策定。中期計画「コンパス2017」において「建築学部(日本初)」「先進工学部」「情報学部システム数理学科」「工学部電気電子工学科」など学部・コースの改革と新設を中心に取り組んできた。

数と入学者の質の確保を課題としてきた同大学は、2037年に迎える学園創立150周年に向け、方向性や社会における存在意義、および基本的価値を示す「Vision150」を2011年に策定。中期計画「コンパス2017」において「建築学部(日本初)」「先進工学部」「情報学部システム数理学科」「工学部電気電子工学科」など学部・コースの改革と新設を中心に取り組んできた。

中央大学経済学部、高校生にも科目等履修制度を拡大

中央大学経済学部は、2017年度から新たに高校生を対象とした科目等履修制度を開始する。対象は高校1〜3年生で、履修科目は「経済入門」(半期2単位科目)。

中央大学経済学部は、2017年度から新たに高校生を対象とした科目等履修制度を開始する。対象は高校1〜3年生で、履修科目は「経済入門」(半期2単位科目)。

中央大学経済学部は、2017年度から新たに高校生を対象とした科目等履修制度を開始する。対象は高校1〜3年生で、履修科目は「経済入門」(半期2単位科目)。

中央大学経済学部は、2017年度から新たに高校生を対象とした科目等履修制度を開始する。対象は高校1〜3年生で、履修科目は「経済入門」(半期2単位科目)。

中央大学経済学部、高校生にも科目等履修制度を拡大

中央大学経済学部は、2017年度から新たに高校生を対象とした科目等履修制度を開始する。対象は高校1〜3年生で、履修科目は「経済入門」(半期2単位科目)。

中央大学経済学部は、2017年度から新たに高校生を対象とした科目等履修制度を開始する。対象は高校1〜3年生で、履修科目は「経済入門」(半期2単位科目)。

中央大学経済学部は、2017年度から新たに高校生を対象とした科目等履修制度を開始する。対象は高校1〜3年生で、履修科目は「経済入門」(半期2単位科目)。

中央大学経済学部は、2017年度から新たに高校生を対象とした科目等履修制度を開始する。対象は高校1〜3年生で、履修科目は「経済入門」(半期2単位科目)。

中央大学経済学部、高校生にも科目等履修制度を拡大

中央大学経済学部は、2017年度から新たに高校生を対象とした科目等履修制度を開始する。対象は高校1〜3年生で、履修科目は「経済入門」(半期2単位科目)。

中央大学経済学部は、2017年度から新たに高校生を対象とした科目等履修制度を開始する。対象は高校1〜3年生で、履修科目は「経済入門」(半期2単位科目)。

中央大学経済学部は、2017年度から新たに高校生を対象とした科目等履修制度を開始する。対象は高校1〜3年生で、履修科目は「経済入門」(半期2単位科目)。

中央大学経済学部は、2017年度から新たに高校生を対象とした科目等履修制度を開始する。対象は高校1〜3年生で、履修科目は「経済入門」(半期2単位科目)。

中央大学経済学部、高校生にも科目等履修制度を拡大

中央大学経済学部は、2017年度から新たに高校生を対象とした科目等履修制度を開始する。対象は高校1〜3年生で、履修科目は「経済入門」(半期2単位科目)。

中央大学経済学部は、2017年度から新たに高校生を対象とした科目等履修制度を開始する。対象は高校1〜3年生で、履修科目は「経済入門」(半期2単位科目)。

中央大学経済学部は、2017年度から新たに高校生を対象とした科目等履修制度を開始する。対象は高校1〜3年生で、履修科目は「経済入門」(半期2単位科目)。

中央大学経済学部は、2017年度から新たに高校生を対象とした科目等履修制度を開始する。対象は高校1〜3年生で、履修科目は「経済入門」(半期2単位科目)。



中央大学経済学部は、2017年度から新たに高校生を対象とした科目等履修制度を開始する。対象は高校1〜3年生で、履修科目は「経済入門」(半期2単位科目)。

中央大学経済学部は、2017年度から新たに高校生を対象とした科目等履修制度を開始する。対象は高校1〜3年生で、履修科目は「経済入門」(半期2単位科目)。

中央大学経済学部は、2017年度から新たに高校生を対象とした科目等履修制度を開始する。対象は高校1〜3年生で、履修科目は「経済入門」(半期2単位科目)。

中央大学経済学部は、2017年度から新たに高校生を対象とした科目等履修制度を開始する。対象は高校1〜3年生で、履修科目は「経済入門」(半期2単位科目)。

中央大学経済学部は、2017年度から新たに高校生を対象とした科目等履修制度を開始する。対象は高校1〜3年生で、履修科目は「経済入門」(半期2単位科目)。

中央大学経済学部は、2017年度から新たに高校生を対象とした科目等履修制度を開始する。対象は高校1〜3年生で、履修科目は「経済入門」(半期2単位科目)。



明星大学と読売新聞が、多摩をテーマに市民講座を開講

明星大学(東京都日野市)は、読売新聞立川支局との共催による連続市民講座「多摩に学び、生きる」より豊かな暮らしのために」を2017年4月から12月まで、全10回で開講する。各回「多摩」をテーマに産業・歴史・文化・風土などさまざまな角度から掘り下げた内容で、講師は明星大学の教員が担当する。

日野校32号館108教室で、時間は13時〜14時30分。7回以上受講した参加者には「修了証」が授与される。

【講座一覧】※全て土曜日

(1) 4月22日「まちづくりの過去、現在、未来」

〜多摩ニュータウンを例に考える〜

(2) 5月27日「地域社会を支える自助・共助」

〜少子高齢化社会でのつながり方〜

(3) 6月24日「障害者・高齢者に優しいまちづくり」

〜誰もが暮らしやすい社会への取り組み〜

(4) 7月8日「地域産業の歩み」

〜繊維工業から近代工業へ〜

(5) 7月22日「最先端を行く中小企業」

〜高技術が生む「研究支援型」ベンチャーやグローバル取引〜

(6) 8月26日「多摩地域の地形形成に多摩川が果たした役割」

〜地球誕生から地震への備

講座は誰でも参加可能で参加費無料、事前申込みも不要。会場は、

が講座開催日に数量限定で販売。第1回講座開催日は、大会館食堂で、多摩産のウドやタケノコなど旬の野菜

参加者は、約4,500点に上る貴重な資料を持つ資料図書館や学生食堂も利用できる。食堂では、講座テーマにちなみ多摩産の食材を使用した「多摩ランチ」(500円)

収容定員の増加を申請した私立大学は、東北学院大学、東北芸術工科大学、上武大学、東都医療大学、文

教大学、桜美林大学、共立女子大学、杏林大学、昭和女子大学、聖心女子大学、創価大学、大東文化大学、東京医療学院大学、東京医療保健大学、東京家政大学、東京電機大学、二松学舎大学、

本短期大学の短期大学3校。

京都市立芸術大学は計155人を増員し、2018年度入学定員は250人とした。

そこで同グループは、正常細胞に囲まれた変異細胞の栄養物やエネルギーなどの代謝経路を解析し、「ミトコンドリア機能の低下」と「解糖経路の亢進」という2つの代謝変化が変異細胞に起こっていることを発見した。これは、変異細胞の周囲に存在する正常細胞からの影響で生じたものであり、変異細胞の排除には周りの正常細胞が重要な役割を果たしていることが分かった。

【お詫び】
大学ジャーナル123号(12月7日発行)8ページ中央大学の記事に不適切な画像を掲載してしまいました。読者の皆様及び関係者の皆様に深くお詫び申し上げます。

明治大学1,030人増員など51の私立大学等で定員拡大

文部科学省は、2017年4月10日、3月末申請の2018年度(平成30年度)からの私立大学等の収容定員の増加にかかる学則変更認可申請一覧を公表。日本大学、同志社大学など48の私立大学と短期大学3校が収容定員の増加を申請した。

武蔵野大学、明治大学、立正大学、新潟医療福祉大学、新潟青陵大学、松本大学、常葉大学、中京大学、中部大学、名古屋学院大学、京都産業大学、京都造形芸術大学、京都美術工芸大学、同志社大学、追手門学院大学、大阪商業大学、大阪成蹊大学、関西医療大学、森ノ宮医療大学、関西福祉大学、奈良学園大学、環太平洋大学、美作大学、安田女子大学、純真学園大学、福岡大学の48校と、山野美容芸術短期大学、名古屋女子大学短期大学部、姫路日ノ本短期大学の短期大学3校。

年度入学定員は15,341人。武蔵野大学は計385人を増員し、2018年度入学定員は2,462人。同志社大学は計326人を増員し、2018年度入学定員は6,351人。福岡大学は計310人を増員し、2018年度入学定員は4,420人。京都造形芸術大学は計178人を増員し、2018年度入学定員は910人。京都美術工芸大学は計155人を増員し、2018年度入学定員は250人とした。

がんは、一つの細胞に変異が起こることから始まる。藤田教授らのグループはこれまで「新たに生じた変異細胞の多くは、周りの細胞と競合した結果、体外へ排除される」という事実を突き止めていた。しかしながら、どのようなメカニズムで変異細胞が排除されるのかは明らかではなかった。

今回の研究により、正常細胞が備えている「がん細胞を駆逐する能力」の一端が明らかになった。これらの成果は、これまでブラックボックスだったがんの超初期段階で起こる現象を明らかにしたものであり、世界初の「がん予防薬」の開発につながると思われる。

震災や戦争などにより、心的外傷後ストレス障害(PTSD)を発症することがある。PTSD患者は、トラウマ記憶のフラッシュバックや悪夢に悩まされる。その治療には、時間をかけてトラウマ記憶に向き合い、恐怖に慣れることで克服を目指す認知行動療法がとられてきたが、患者の精神的負担が大きいたことが問題となっていた。

筑波大学の坂口昌徳准教授らは、夢が睡眠中の記憶の処理に関わっているという先行研究から、睡眠中にトラウマ記憶を弱められるのではないかと考えた。

研究グループは、特定の音を聞かせながら電気ショックを与えたマウスを実験に使用。このマウスは、その後音を聞かせるだけでおびえた反応を示すようになる。しかし、睡眠中に同じ音を聞かせた後では、音を聞いた時のおびえた反応が弱まることがわかった。さらに、レム睡眠とノンレム睡眠での効果を比較し、ノンレム睡眠中に音を聞かせた場合にだけ、おびえた反応が弱まることを明らかにした。

本 研究 から、PTSD患者に苦痛を与えることなく、睡眠中の治療でトラウマ記憶を減弱させることができる可能性が示された。これがどのような脳内メカニズムによったものなのか、新しい治療法の開発に向けてさらなる解明も期待される。

【お詫び】
大学ジャーナル123号(12月7日発行)8ページ中央大学の記事に不適切な画像を掲載してしまいました。読者の皆様及び関係者の皆様に深くお詫び申し上げます。

【お詫び】
大学ジャーナル123号(12月7日発行)8ページ中央大学の記事に不適切な画像を掲載してしまいました。読者の皆様及び関係者の皆様に深くお詫び申し上げます。

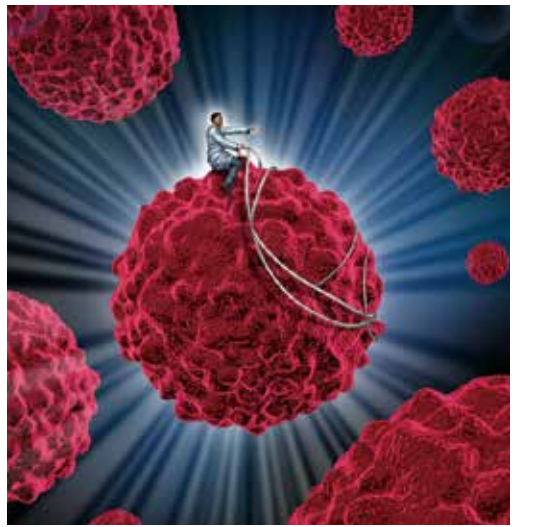
【お詫び】
大学ジャーナル123号(12月7日発行)8ページ中央大学の記事に不適切な画像を掲載してしまいました。読者の皆様及び関係者の皆様に深くお詫び申し上げます。

【お詫び】
大学ジャーナル123号(12月7日発行)8ページ中央大学の記事に不適切な画像を掲載してしまいました。読者の皆様及び関係者の皆様に深くお詫び申し上げます。

【お詫び】
大学ジャーナル123号(12月7日発行)8ページ中央大学の記事に不適切な画像を掲載してしまいました。読者の皆様及び関係者の皆様に深くお詫び申し上げます。

【お詫び】
大学ジャーナル123号(12月7日発行)8ページ中央大学の記事に不適切な画像を掲載してしまいました。読者の皆様及び関係者の皆様に深くお詫び申し上げます。

【お詫び】
大学ジャーナル123号(12月7日発行)8ページ中央大学の記事に不適切な画像を掲載してしまいました。読者の皆様及び関係者の皆様に深くお詫び申し上げます。



今回の研究により、正常細胞が備えている「がん細胞を駆逐する能力」の一端が明らかになった。これらの成果は、これまでブラックボックスだったがんの超初期段階で起こる現象を明らかにしたものであり、世界初の「がん予防薬」の開発につながると思われる。

震災や戦争などにより、心的外傷後ストレス障害(PTSD)を発症することがある。PTSD患者は、トラウマ記憶のフラッシュバックや悪夢に悩まされる。その治療には、時間をかけてトラウマ記憶に向き合い、恐怖に慣れることで克服を目指す認知行動療法がとられてきたが、患者の精神的負担が大きいたことが問題となっていた。

筑波大学の坂口昌徳准教授らは、夢が睡眠中の記憶の処理に関わっているという先行研究から、睡眠中にトラウマ記憶を弱められるのではないかと考えた。

読解力・表現力、コミュニケーション力について考える ―その1

日本語力を高めよう

日本語の乱れや、問題の多い日本語が、本やテレビで話題になり、空前の日本語ブームとなって10年以上。

当時指摘された問題やそれを生み出す状況は相変わらずで、最近では中学生や高校生の読解力の低下も懸念されています。

一方、2020年度からの実施が予定されている新しい大学の入学者選抜では、読解力、記述力のウェイトが高まるのは必至。

『問題な日本語』(2004年:大修館書店)の編者で、当時の日本語ブームの仕掛人のお一人でもある日本語学者の北原保雄先生に、

「問題な日本語」の今と、日本語力を高めるために心にとめておきたいこととお聞きしました。



新潟産業大学学長
元筑波大学学長
元日本学生支援機構理事長
北原 保雄 先生

Profile

昭和43年東京教育大学大学院文学研究科博士課程中退。文学博士(筑波大学)。和光大学人文学部助教授などを経て昭和49年筑波大学芸・言語学系助教授、同59年9月同教授。その後同学系長、同大学附属図書館長などを経て平成10年4月～16年3月同大学学長。平成16年4月～20年10月独立行政法人日本学生支援機構理事長。平成25年4月1日から現職。この間、国語審議会など多数の委員を歴任。現在、公益社団法人日本教育委員会。新潟県立柏崎高等学校出身。『日本国語大辞典』(小学館、全13巻)、『明鏡国語辞典』(大修館書店)、『全訳古語例解辞典』(小学館)などの編者。『問題な日本語』は平成16年から平成23年まで全4編が発行され、現在まで100万部を超えて親しまれている。

《問題な日本語》

元々語句や文、文章というものは、「知っているか、知らないか」で話題にしやすいため異なり、多くの人の関心を惹きにくいものです。『問題な日本語』が受けたのは、その言葉が造られた過程や誤用の筋道を解きほぐすというアプローチが斬新だったからだと思えます。もちろん、日本語がおかしいと感じている人たちが多かったということもあるでしょう。私は、国語審議会委員、文化審議会副会長(国語分科会会長)などを歴任していましたが、そういう正しい日本語を守るべき立場にある者が、問題な日本語を擁護するようなことをするのは変ではないかと誤解する人もあったようです。しかし、私の真意は、問題な日本語に

ついて、どうしてそんな誤りをするのかという誤用の論理を明らかにし、その誤用がどれくらい進んでいるかを調べて紹介し、本来の正しい日本語と比べることにありました。それはともかく、せっかく高まった日本語の容にたいする関心、日本語熱も最近では少し下火になってきているようで、残念です。

一方この間、グローバル化が進展する中で、クールジャパンという言葉も生まれるなど、サブカルチャーに限らず日本の伝統・文化が海外で評価されるようになり、それを見直し、次世代にも伝えようという気運も高まっています。現行の学習指導要領にもそれが反映され、中学校の体育では武道が必修に、技術・家庭では和服に親しむことなどが盛り込まれました。このことは当然、日本語の伝統やその良さを継承するには

追い風となるはずですが、古文・漢文では教科書作成にも困るほど、教える先生が減っているという現実があります。かつては、大学で研究するのは古文や漢文で、現代文の研究をする先生などいませんでした。塩田良平先生^{※1}とか吉田精一先生^{※2}など著名な現代文の研究者も、初めは古文の専門家だったのです。私でさえ、大学の専攻は古い言葉でした。自分が今使っている現代の言葉は研究の対象にならな

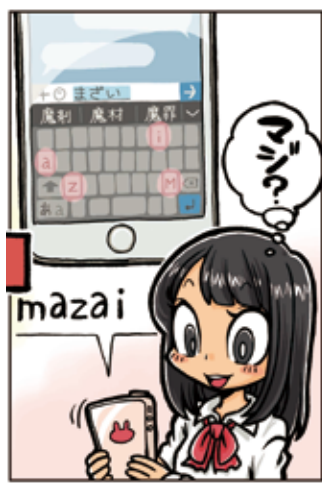
い言葉の生み出し方を通じて、新たな言語文化を生む可能性はないとは言えません。ただここには見逃せない問題もあります。私は常々、言葉には深さが必要であること、また言語能力の基層を作るのは書き言葉であり、話し言葉の拡散・フォーマル化、話すことを重視した学校教育などは書き言葉の乱れを引き起こすと主張してきましたが、今の新しいメディアに乗った言葉はその極限とも言えます。言葉の深さを伝えるには全く不十分ですし、しかも閉じられた仲間のあいだでしか通用せず、公共性という言葉の持つ大きな役割も果たしていません。新しいメディアやツールの出現によって便利になった分、失うものも出てきたのです。

一般的に日本の国語教育に対しては、文学中心だという批判もあるように、教師が文学的な面に偏りすぎる傾向があることは否めませんが、言葉の教育としての側面をもっと重視する必要があります。こう言うと、「言葉の教育とは文法教育のことですか」という声がかかります。聞きかたが違いますが、それは極端で、情感や情意を育むのも国語教育の目的であることに変わりはありません。ただ、「何を」「いかに」表現するかの観点から、「いかに」をしっかりと捉えて「何を」にあたるものを教えることが大事で、どちらかに偏ってはいけないということです。

私がこのように言葉にこだわるのは、幼児がカオスともいえる状態の中から、言葉で物を区別し概念に名を付けていくことで知的に成長していくのを見てもわかるように、言葉の理解が浅いと思考力は深まらないからです。日本語力の低下は読解力、表現力の低下につながり、さらには英語をはじめ全ての学力の向上にも支障をきたします。

語彙を増やすには、まず人の話をよく聞き、人の書いたもの、本を読むことです。そのうえで、人に話すときはよく考えて、言葉をしつかり吟味することです。最近ではTVを見ていても、何かを聞かれたら得意即妙に応えられるタレントが生き延びているようですが、これでは日本語力を高めることはできないと思います。芸能人は芸をみがき、芸でこそ勝負すべきです。それはともかく、読書は、言語能力の基層を形成する書き言葉を学ぶという意味からも大事です。

古典・漢文について言えば、内容だけでも得るものは多いですが、決して「要するに」で終わらせないことです。あくまでも言葉に即して、できる限り原語、原文で味わってほしい。ドナルド・キーンさんが瀬戸内寂庵さんとの対談の中で、『源氏物語』の読み方について、原文に拘らなくても訳本で内容を理解すればいいというようなことを言っておられましたが、やはり原文に触れないと、本当に読んだこと、本当に理解したことにはなりません。



確かに言葉は生き物ですから、それを研究する者としては、誤用を指摘するだけでなく、変化を受け入れていく姿勢も必要でしょう。たとえば、SNSなどの新しい通信メディアが、私たちの世代がワープロの出現によって楽に文章を構成できるようにになったのと同じように、これまでに

「何を教えるか」から「どのように力を育むか」に観点を換え、主体的な学

びと対話的な学びで深い学びを具体化しています。アクティブラーニングが必要とされるのです。私は今回の国語の改訂作業では、小学校から中学・高校を一貫して「国語を通してどんな力をつけるか」という基底となる共通部分を検討するワーキンググループに係わりましたが、そんな中で高校に關して一つ言えるのは、教師の力量がますます問われるようになるということです。高校生ともなれば、深い学びを通じて教師が思ってもみないようなことを考えつく生徒も出てきます。それに対して、自分なりの落としどころ(結論)を用意しておき、最後になるほどと驚かせるような答えを示せるかが問われると思います。

同様に英語教育においても深い読みが必要ですから、英語をツールのように扱うだけの授業では物足りません。受験英語の功罪はさておき、たとえば、*sergeant*はこの文脈では3つのことからその表現ではなくこの言葉を使うのかと考える。それが言葉の学ぼうというところで、それではじめて、表現者の言いたいこと、作品への理解も深まります。

私がこのように言葉にこだわるのは、幼児がカオスともいえる状態の中から、言葉で物を区別し概念に名を付けていくことで知的に成長していくのを見てもわかるように、言葉の理解が浅いと思考力は深まらないからです。日本語力の低下は読解力、表現力の低下につながり、さらには英語をはじめ全ての学力の向上にも支障をきたします。

語彙を増やし、言葉を深く学ぼう。それでは言葉を深く学び、読解力・表現力の基礎となる日本語力を高めるにはどうすればいいのでしょうか。まずは当たり前のようですが、語彙を増やすことです。語彙が増えれば増えるほど、その間の微妙な違いがわかるようになり、表現全体についての理解も深まります。

別の機会に北原先生は、日本語力の低下、日本語の急激すぎる変化について、その原因の一つは、背景にある文化が世代間でうまく継承されていないことであると指摘されています。三世同居が当たり前だった時代には、祖父母が孫と言葉を交わす機会も多く、この一世代おいた接触が、文化やその反映である言葉の継承に寄与していたのではないかとされます。また家族の構成員が多いことや地縁に基づいたコミュニケーションが活発だったことも、文化や言葉の継承に寄与してきたのではないかと分析されています。

五十四帖すべてを読むのは大変ですが、一帖だけならなんとかなります。それをじっくり味わって読めば、そこに込められた感性の一端に触れることもできるはずですよ。

同じように、漢文なら引き締まった語感や言いまわしを感じ取ることができます。固い果物を齧って食べる代わりにミキサーにかけて飲んでも、摂取できる成分が変わりはありません。しかし味わいは違います。それと同じで、やはり元となるもの、本物に触れないことには、表現者の感性や表現そのものが持つ深さを理解し、それを自らの表現に活かしていくことはできないと思います。



別の機会に北原先生は、日本語力の低下、日本語の急激すぎる変化について、その原因の一つは、背景にある文化が世代間でうまく継承されていないことであると指摘されています。三世同居が当たり前だった時代には、祖父母が孫と言葉を交わす機会も多く、この一世代おいた接触が、文化やその反映である言葉の継承に寄与していたのではないかとされます。また家族の構成員が多いことや地縁に基づいたコミュニケーションが活発だったことも、文化や言葉の継承に寄与してきたのではないかと分析されています。